

「協働」が新しいまちづくりのカチをつくりだす！！

# 平成29年度 掛川市市民活動推進事業 報告書

平成30年6月6日

掛川市生涯学習協働推進課

# 目 次

平成29年度 掛川市市民活動推進事業 採択団体一覧	1
---------------------------	---

## パートナーシップ事業

横須賀よさこい実行委員会	2 ~ 4
「まじすかよこすか2017～第4回横須賀よさこい祭り～」 (協働相手：掛川市食品衛生協会)	
特定非営利活動法人 冀北の杜	6 ~ 7
「障がい者就労で絵本を創る「第2回きほくえほんのもりコンテスト」 昨年度の仕組みの発展形『工賃収入を高める仕組みを構築しよう』」 (協働相手：子どもの読書活動を考える会、ほんわかブッククラブ、掛川市福祉課)	
どこ屋台実行委員会	8 ~ 9
「どこ屋台及び地図データを使った観光サイト構築」 (協働相手：掛川市IT政策課)	
NPO ちゃんぷる	10 ~ 11
「おわだ秋桜まつり」 (協働相手：大和田区)	
桃色かけがわ6	12 ~ 14
「未来のまちづくりにおける楽しい対話の方法を学ぶ講座」 (協働相手：掛川市社会福祉協議会)	

## 行政課題解決事業

中村城山砦保全会	16 ~ 17
「中村砦の避難道整備による地域の安全安心づくり事業」 (協働相手：中地区高塚区、掛川市社会教育課)	
掛川市観光物産センターこだわりっぱ 受任者 西東石油株式会社	18 ~ 20
「市民主体のイタリア・ペーザロ市との経済交流・観光振興の推進」 (協働相手：かけがわ街づくり株式会社、掛川市観光交流課)	

## 平成29年度掛川市市民活動推進事業 採択団体一覧

	団体名	金額(円)	補助種別	事業種別	協働相手	タイトル
1	横須賀よさこい 実行委員会	400,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	掛川市食品衛生協会	まじすかよこすか2017～第4回横須賀よさこい祭り～
2	特定非営利活動法人 冀北の杜	450,000	補助 (3/4)	パートナーシップ	子どもの読書活動を考える会 ほんわかブッククラブ 掛川市福祉課	障がい者就労で絵本を創る「第2回きほくえほんのもりコンテスト」昨年度の仕組みの発展形『工賃収入を高める仕組みを構築しよう』
3	どこ屋台実行委員会	200,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	掛川市IT政策課	どこ屋台及び地図データを使った観光サイト構築
4	NPOちゃんぷる	208,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	大和田区	おわだ秋桜まつり
5	桃色かけがわ6	245,000	補助 (1/2)	パートナーシップ	掛川市社会福祉協議会	未来のまちづくりにおける楽しい対話の方法を学ぶ講座
6	中村城山砦保全会	500,000	補助 (10/10)	行政課題解決	中地区高塚区 掛川市社会教育課	中村砦の避難道整備による地域の安全安心づくり事業
7	掛川市観光物産センター こだわりのっぱ 受任者 西東石油(株)	500,000	補助 (10/10)	行政課題解決	かけがわ街づくり株式会社 掛川市観光交流課	市民主体のイタリア・ペーザロ市との経済交流・観光振興の推進
	7団体	2,503,000				

## 事業報告書

団 体 名	横須賀よさこい実行委員会
事 業 名	まじすかよこすか 2017～第 4 回横須賀よさこい祭り～
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>5 月：ホームページ開設エントリーチーム募集。</p> <p>6 月 17 日(土)：開催事前準備としてオープン練習会。17 人の横須賀小学生と 7 人の大人参加でのレクチャー。</p> <p>宣伝ポスター 300 部配布・新聞折込、横須賀 3,900、大東 3,300、掛川 11,930 部配布。パンフレット 2,000 部配布。地元の老人クラブへ開催 PR のチラシを回覧。</p> <p>6 月 23 日～24 日：会場準備に静岡大学生、横須賀高校生スタッフ応援要請。</p> <p>6 月 25 日(日)：11:00～17:30 開催</p> <p>市内外から 26 チーム 430 人の踊り子参加の下に三熊野神社境内メインステージ、横須賀高校前広場、中本町通り(パレード)の 3 会場にて 4 回～5 回のチーム演舞披露。</p> <p>参加者全員により中本町通りから三熊野神社境内までの大パレード～フィナーレの盛り上がりは多くの観客で賑わう。</p> <p>三熊野神社境内に飲食 9 店、横須賀街道沿いに飲食 5 店、物販 6 店の出店で祭りを盛り上げた。</p> <p>また、9 月の横須賀ちいねり同日にフォトコンテストを開催し、10 月の横須賀ちっちゃな文化展では、まじすかよこすか PR ブースを設け宣伝や開催予告等の発信をした。</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>ホームページ開設で、エントリーチーム募集、チーム紹介、タイムスケジュール公開、会場案内、駐車場案内でよりスムーズになりクレームも少なかった。大学生の繋がりが出来て準備&amp;片付けの手伝いもして頂いた。</p> <p>あいにくの雨でしたが、観客の足が絶える事なく終始お客様の往来があったのは宣伝効果と思う。</p> <p>地元の参加を呼びかけたことで、横須賀小学校 3・4 年生がエントリーをしてくれた。まじすかよこすかだけでなく、夏祭りにも横須賀小学生の踊り子がよさこいを踊ってくれることに繋がりが将来的に普及の可能性。</p>

<p>事業期間</p>	<p>平成29年5月8日 ～ 平成29年10月22日</p>
<p>協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)</p>	<p>掛川市食品衛生協会の会員さんから協賛金や応援金の資金をお願いに理解してもらえたりことや宣伝してもらえた事は心強く、有難い。 飲食の出店者の衛生管理意識はこれよりも増し、環境の良さから、お客様が『露店でもきれいで安心して買い物ができる』との声が聞けて良かった。</p>
<p>今後の展開 (短期・中期のビジョン、 「協働」を見据えた観点から記載)</p>	<p>地元の小学生がエントリーしてくれたことを受け、小学生の伝統行事になっていくようにしたい。また、成長しても継続するように中学生チームのエントリーに繋げていきたい。 掛川市食品衛生協会の会員にお客様へ宣伝と協賛のお願いを継続していきたい。スポンサーになってくれるお店を探して資金にしていく。 年間通して4月の大祭、9月のちいねり、8月の盆踊り、10月のちっちゃな文化展において、まじすかよこすかのPRを続けて、エントリーチーム数の増加、協賛金の増加、両方の拡大で自立したイベントになるように活動する。</p>

様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名:横須賀よさこい実行委員会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
掛川市市民活動推進事業	400,000	助成金
協賛金	363,000	企業&個人協賛金、応援団より支援金
参加費	351,750	運営協力費、出店料
自己財源	29,853	実行委員会費
合計	1,144,603	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
旅費	1,755	地方車燃料
報償費	56,040	講師料43,200、謝礼12,840
文具消耗品費	29,446	事務用品、雨カッパ、発電機の燃料
印刷製本費	208,424	ポスター300部、チラシ20,000部、パンフ2,000部、コピー代
通信運搬費	9,729	切手代(後援申請、出店&参加者へ駐車券、協賛&応援者へ礼状、郵送)
使用料・貸借料	704,626	ステージ設営、音響、地方車、テントレンタル 会場費、プロデュース料及びデザイン料(200,000)
手数料	98,081	宣伝広告新聞折込料、交通警備、県証紙、食券小判(5,400)、ゴミ処理手数料
保険費	3,287	イベント保険
食糧費	33,215	スタッフ弁当
合計	1,144,603	
(うち対象外経費)	238,615	食券小判5,400、食糧費33,215 プロデュース及びデザイン料200,000



## 事業報告書

団 体 名	特定非営利活動法人 冀北の杜
事 業 名	障がい者就労で絵本を創る「第2回 きほく えほんのもり コンテスト」 昨年度の仕組みの発展形『工賃収入を高める 仕組みを構築しよう』
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	第2回障がい者就労で創作絵本をつくる事業 実行委員会を再度設置 (4月) 事業採択 (5月) きほくえほんのもりコンテスト開催告知 (7月上旬) 応募作品7点の審査会実施 (9月) 絵本挿絵を障がい者就労で制作 (10月～1月) 絵本を子供達へ寄附する寄附者を募集 (1月) 絵本の装丁と配布、及び読み聞かせ (3月)
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	工賃を高めるには、①作品のクオリティーを高めることと、 ②寄付や販売手段の拡大が必要です。 売るために、デザイン性の向上と、販売推進体制を高めることに傾注しました。デザイン構成に実行委員会が関わりを持ったことで、挿絵作業者が精神的に重圧を掛けず、又多様な視点で挿絵構成ができ、前回よりも質の向上を確保。また企業の協働で販売への道筋が出来ました。
事 業 期 間	平成29年6月28日 ～ 平成30年3月10日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)  (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	協働を積極的にして頂いた福祉課、また多彩なメンバーと新参入の掛川花鳥園さん、協働の姿は無理もせず、互いに何をなすべきかをしっかり踏まえた役割をして頂きました。2作目であったので、前回の改良点をカバーしていくことが出来ました。 ただ、出品要項でモチーフを限定したことからか、コンテストに参加作品が少なかったのは次回への反省点です。
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	新聞社の自主出版事業に応募する、もしくはクラウドファンディングの方式で、資金を集め、販売の定着化を図れる努力が必要であると思います。 また、一人の利用者の得意分野 (今回の方は鉛筆による写実技法) のみならず、他の利用者の作画が本になれるような仕掛けも必要なのかもしれませんが。 其の為には、専門家指導が必要なことは言うまでもありません。(障がい者アート指導者等)



様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名:特定非営利活動法人 冀北の杜

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	450,000	市民活動推進事業補助金 (パートナーシップ事業・福祉セーフティネット)
寄附金	126,000	1000円以上寄附(絵本1冊贈呈)
自己資金	50,407	NPO法人冀北の杜
合計	626,407	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	79,000	有識者謝金 技術指導謝金 HP管理謝金 原作者報償
印刷製本費	456,250	募集チラシ3000枚 絵本製本費(原画、デザイン、製本料等) 発送品の整え一式
文具消耗品費	49,257	文具、画材等
通信運搬費	17,250	配布配達代等
使用料及び貸借料	18,650	会議場借り上げ代、花鳥園入園料
旅費	6,000	ガソリン代(応募要項説明配付 贈呈へ宅配 協働団体への連絡等)
合計	626,407	407円は活動主体NPO冀北の杜負担
(うち対象外経費)	0	

様式第 14 号

## 事業報告書

団 体 名	どこ屋台実行委員会
事 業 名	どこ屋台及び地図データを使った観光サイト構築
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	あらかじめ位置情報発信アプリを入れたスマートフォンを各屋台においてもらい掛川祭41地区中29地区、和田岡1地区、倉真1地区、駅南1地区の屋台位置情報を「掛川祭どこ屋台」サイトで公開した。 各屋台位置情報公開期間 和田岡地区 9月29日～10月1日 掛川祭、倉真地区 10月6日～8日 掛川祭時の観光案内のため、掛川市街地の観光地をマップ上で表示し案内を音声で再生する「かけがわVoice MAP」を追加した
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	「掛川祭どこ屋台」サイト閲覧数 (10/9～10/12の4日間) のべ利用者数 32,821人 のべ閲覧ページ数 21,881ページ
事 業 期 間	平成29年7月4日 ～ 平成30年3月10日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)  (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	協働していただいた掛川市役所IT政策課には、市役所内他課、掛川市観光協会との連絡調整をしていただき、スムーズに事業を行うことができた
今後の展開 (短期・中期のビジョン、 「協働」を見据えた観点から記載)	3年間の実績で、屋台位置情報表示は定着してきている。 来年度も引き続き事業を継続したい。 また、掛川祭だけでなく、他祭りでの利用展開を進めたい。

様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名:どこ屋台実行委員会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
受託金	200,000	
自主財源	201,458	寄付、協賛金・広告費
合計	401,458	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	280,500	どこ屋台サイト更新、観光案内サイト開発製作
文具消耗品費	26,278	USB電池パック、乾電池、用紙、インキ
印刷製本費	87,800	PRチラシ作成、検証・報告書作成
通信運搬費	1,620	通信暗号(SSL)利用料
使用料・貸借料	5,260	竹の丸等使用料
合計	401,458	
(うち対象外経費)		

## 事業報告書

団体名	NPOちゃんぶる
事業名	おわだ秋桜まつり
事業内容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>2017年6月から12月末日まで行う。</p> <p>掛川市大和田区にある、「いいとこ広場」とその周辺の休耕田を借用し秋桜まつり&amp;森のマルシェを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大和田区にある里山の自然を知ってもらうため、レンタサイクルを用意し自転車で大和田地域を巡ってもらった。</li> <li>・企業2社に出店していただいた。</li> </ul> <p>&lt;スケジュール&gt;</p> <p>6月 広報(出店者募集) 草刈り・地ならし・設置準備(6/22)</p> <p>7~8月 広報・草刈り(6/28, 8/7)・種まき(7/1) 会場打合せ(8/27)</p> <p>9月10日イベント</p> <p>10月 コスモスの種取り</p> <p>10月~12月 反省会、次回計画会議</p>
事業成果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>① 地元の方から休耕田を借用して秋桜畑に活用した。</p> <p>② 地元の河川敷にある「いいとこ広場」で子どものあそび場や手作りマルシェ・体感コーナー、フード、和太鼓演奏などに親子で参加。県内外から来場者約500人以上</p> <p>③ 地元の出店として鮎の塩焼き、焼きいも、地場野菜・果物</p> <p>④ 秋桜の種まきには、区長や近所の方、ボランティアの方々の支援協力があった。</p>
事業期間	交付決定日 ~ 平成 29年 12 月末日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)(※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域への情報提供をしてもらう(会合での告知・回覧等)</li> <li>・イベント当日までの協力(草刈り・田おこし・種まき等)</li> <li>・当日運営の協力(駐車場係など)</li> <li>・森のマルシェへの地元住民の出店</li> </ul>
今後の展開 (短期・中期のビジョン 「協働」を見据えた観点から記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は大和田地区のみならず、原泉地域の地域資源を活用して、たくさんの人に来てもらうこと(参加)の企画・提案などを地域住民と一緒に構築していく。</li> <li>・季節の行事に合わせて地域の方々とイベントを開催していく予定(12月:芋煮会&amp;クリスマスオーナメント作り)</li> <li>・月1カフェ(地元の人と気軽におしゃべり)</li> </ul>

様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名：NPOちゃんぷる

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	208,000	市民活動推進事業補助金
出店料	42,000	マルシェ出店料(地元、飲食、飲食以外)
入場料	33,600	168台 @200円
自己資金	133,116	
合計	416,716	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	75,000	講師料
旅費	25,000	講師交通費
文具消耗品費	70,421	原材料費(種子、肥料)、燃料費、文具等
印刷製本費	75,920	チラシ、ポスター印刷代、コピー代
食糧費	9,000	講師昼食
通信運搬費	10,275	郵送代(切手等)
保険費	16,000	イベント保険
使用料・貸借料	135,100	土地貸借料、車両借上料、駐車代、当日備品等
合計	416,716	
(うち対象外経費)		

## 事業報告書

団 体 名	桃色かけがわ 6
事 業 名	未来のまちづくりにおける楽しい対話の方法を学ぶ講座
事業内容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>① <u>主体的に関わる「協働によるまちづくり」研修</u>      日時：平成29年9月2日（土）9時～12時30分      場所：倉真地域生涯学習センター      参加者：30名</p> <p>② <u>ワークショップによる意見集約実践研修</u>      日時：平成29年10月1日（日）9時～12時30分      場所：掛川市社会福祉協議会 会議室      参加者：34名</p> <p>①、②講座内容      「まちづくりへの楽しいかかわり方」、「ファシリテーションを活用したワークショップによる意見の集約方法」を行い、まちづくりの楽しさ、ファシリテーターとしての基礎を学ぶ。      講師：一般社団法人会議ファシリテーター普及協会      代表 釘山 健一、副代表 小野寺 郷子      参加費：3,500円（1回）</p> <p>③ <u>視察 NPO法人みらい建設部 定例会</u>      日時：平成29年12月10日（日）      市民ファシリテーターの実践について学ぶ。</p> <p>④ <u>話し合いの場の実践 「未来への寄合い」</u>      日時：平成30年1月28日（日）13時～15時30分      場所：掛川市社会福祉協議会 会議室      参加者：15名、参加費：無料</p> <p>⑤ <u>実際の活動の中での、対話の場づくり</u>      日時：平成30年3月10日（土）      場所：掛川市生涯学習センター 担い手の部屋</p> <p>⑥ <u>ファシリテーター派遣についての打ち合わせ</u>      日時：平成30年3月16日（金）</p>

<p>事業成果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)</p>	<p>講座の感想の多くが「こういう話し合いの仕方があるとは初めて知り、とても楽しかった」という趣旨のもので、話し合いにも主体的に参加できていたように思う。また高校生から、大人まで幅広い年代の方々にご参加頂いたことで、多様な視点からの話し合いに繋がったように思う。主体性を生み出す話し合いの手法のひとつとして体験し学ぶことができたように思う。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成 29年 8月 1日 ~ 平成 30年 3月 19日</p>
<p>協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)</p> <p>(※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)</p>	<p>掛川市社会福祉協議会との協働により、会場の提供や、参加者募集に対しての呼びかけや、事前準備などに協力頂き、当日の進行もスムーズに行うことができた。</p>
<p>今後の展開 (短期・中期のビジョン、 「協働」を見据えた観点から記載)</p>	<p>今後も引き続き、主体性や多様性を育む地域づくりのために、ファシリテーション講座や、会議の視覚化をするためのグラフィックレコード講座を取り入れて、各組織の目的を達成していくための手法を学んでいきたい。 また、まちづくり協議会や各団体へのファシリテーター派遣を事業化していきたい。</p>

様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名:桃色かけがわ6

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	245,000	市民活動推進事業補助金
参加料	189,000	3,500円×54人=189,000
寄付金	35,000	
負担金	21,336	
合計	490,336	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
報償費	324,480	講師謝礼、謝礼品費
旅費	6,340	講師交通費
文具消耗品費	119,981	文房具
印刷製本費	12,064	チラシ印刷代
食糧費	20,327	ワークショップお茶菓子代
使用料・貸借料	1,500	倉真生涯学習センター使用料
手数料	864	振込手数料
保険費	4,780	行事保険
合計	490,336	
(うち対象外経費)		



平成29年度掛川市市民活動推進事業

# おわた秋桜まつり

同時開催 おわた森のマルシェ

2017年9月10日(日) 10:00~15:00

会場：いいとご広場&秋桜畑 (大和田区休耕田)

※雨天決行！雨天時は「桜咲く学校」にて開催

入場料 無料  
駐車 200円

- ★アドベンチャーウォーキング
- ★子ども広場
- ★ワークショップ
- ★秋桜畑
- ★演奏会
- ★レンタサイクル

食べて遊んで聴いて体験しよう！

ごすもす畑で写真を撮ろう！

いいとご広場 秋桜畑

アドベンチャーウォーキングスタート地点

食 遊 聴

主催：NPO ちゃんぷる 協働：大和田区 後援：掛川市

お問い合わせ：npo.campur@gmail.com 森のマルシェの詳細は裏面をご覧ください。



桃 色 か け が わ 6

平成29年度 掛川市市民活動推進事業

## 「かけがわ」で日本一楽しい研修と全国で評判の講座が！

### “楽しい対話”の場づくり講座

こんなことありませんか？  
◎地区の会合などで、いつも特定の人が発言している。◎会議で、いつも発言しづらい雰囲気がある。◎思い当たるあなた！  
みんなが「楽しく」「主体的」に参加する場づくりを、学んでみませんか？  
今回、日本一楽しい講座と全国で大評判の講座がついに掛川で開催されます。  
今がチャンスです！！  
この機会にぜひ参加してみてください！！

第1回 主体的に関わる「協働によるまちづくり」研修  
9. 2 (土) 9時~12時30分  
場所：倉賀野生涯学習センター

第2回 ワークショップによる意見集約実践研修  
10. 1 (日) 9時~12時30分  
場所：掛川市社会福祉協議会 会議室

■参加費：1回3500円  
■対象：市内在住で2回の講座に出席できる方  
■定員：先着40名  
■主催：桃色かけがわ6  
■協働：掛川市社会福祉協議会

【講師紹介】  
会議ファシリテーター普及協会  
釘山 健一さん(代表)  
小野寺 椰子さん(副代表)  
会議ファシリテーター普及協会は「楽しい対話の文化を根付かせよう！」をミッションに全国で活動している団体。その講座は、とにかく「楽しく」「具体的」で「眠くならない」、と多方面から好評を得ている。

お申込み 氏名・住所・連絡先を明記の上、下記連絡先に8月28日(月)までにお申し込み下さい。  
FAX：0537-27-1486 メール：momokake2017@excite.co.jp  
お問い合わせ 桃色かけがわ6 代表 宮城 (080-3999-7064)



様式第 14 号

## 事業報告書

団 体 名	中村城山砦保全会
事 業 名	中村砦の避難道整備による地域の安全安心づくり事業
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>① 竹林を伐採しつつ荒山の現状確認 (29/5～29/10)</p> <p>② 不要な樹木の撤去 南側 (29/11)</p> <p>③ 先進地への視察 (29/07御殿場)</p> <p>④ 全体計画の作成 (29/5～29/12)</p> <p>※①③については今期分完了 ②④については継続中 ①～④は複数年かけて計画しているので来年度も継続して実施する予定である。</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>「地域住民と掛川市の理解により、危険な竹林を伐採整備し緊急時の避難地と平時の憩いの広場にする」を課題として取り組んだ。事業全体を5年計画にて取り組んでいるので現時点では25%程度の進捗である。竹林の伐採が順調に進んでおり外観が見えてきたため、具体的に将来展望が開けて見通しは大変明るい。</p>
事 業 期 間	平成29年5月15日 ～ 平成30年2月20日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)  (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	<p>協同相手団体である高塚区民、高栄会、五月会のメンバーは作業の都度参加をし協働のパートナーとして十分な理解と協力を得ている。</p>
今後の展開 (短期・中期のビジョン、「協働」を見据えた観点から記載)	<p>短期的…竹林の伐採がまだ残っており、本年も継続して実施していく。</p> <p>中期的…竹林以外の大木の伐採 上り坂階段整備 芝生広場の整備 植林等を並行して実施していく。</p>

様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名： 中村城山砦保全会

(収入)

区分	決算額(円)	説明
補助金	500,000	
利息	1	
区民協賛金	37	
合計	500,038	

(支出)

区分	決算額(円)	説明
使用料・賃借料	358,800	ミニショベル賃借料118,800 油圧ショベル賃借料240,000
旅費	15,270	視察(東名高速料15,270)
文具消耗品費	116,714	パソコンインク代10,670 印刷紙996 除草剤36,800 オイル992 作業工具27,800 ロープ798 燃料5,658 軽油16,500 ガソリン16,500
食糧費	3,919	作業時飲料3,919
手数料	864	振込手数料864
報償費	4,471	手土産4,471
合計	500,038	
(うち対象外経費)		

## 事業報告書

団 体 名	掛川市観光物産センターこだわりっば 受任者 西東石油株式会社
事 業 名	市民主体のイタリア・ペーザロ市との経済交流・観光振興の推進
事 業 内 容 (実施内容とスケジュールを具体的に記載)	<p>(1) ペーザロ市特産品の輸入経路の開拓</p> <p>ワインやオリーブオイルなどペーザロ市を代表する特産品を安定的に輸入する経路を開拓し、日本で初めてとなるペーザロ市からの輸入を実現し、姉妹都市相互交流の発展の足掛かりをつくった。</p> <p>また、こだわりっば内に特産品展示販売施設を開設し、市民がペーザロ市の特産品に触れる機会を創出した。</p> <p>(2) 姉妹都市記念メニューの開発</p> <p>ペーザロ市のオリーブオイル等と掛川市の茶葉を活用した記念メニュー「茶ノペーゼ」を創作し、姉妹都市相互の互産互消を推進した。</p> <p>また、こだわりっば内に開店したイタリアンレストラン「ペーザロ」で提供することで、市民がペーザロ市の食文化を体験する機会を創出した。</p>
事 業 成 果 (事業計画に記載した課題の解決・改善成果を確認方法の観点から記載)	<p>① 姉妹都市に対する市民の関心が向上した。</p> <p>② 経済交流や観光交流の足掛かりができた。</p> <p>・ペーザロ市からの輸入経路が開拓、互産互消レストラン「ペーザロ」が開店、特産品展示販売コーナーが新設。</p> <p>③ 中心市街地で開催される様々なイベントと連携することで、新たな魅力が創出され、楽しさが倍増した。</p>
事 業 期 間	平成 29 年 7 月 25 日 ~ 平成 30 年 3 月 19 日
協働の成果 (事業計画に記載した協働相手の役割の観点から記載)  (※パートナーシップ事業・行政課題解決事業のみ)	<p>① 掛川市との協働により、関係機関との調整が円滑に進むとともに、行政の情報発信力により報道機関の取材が多く行われ、知名度が高まった。</p> <p>② かけがわ街づくり株式会社（観光協会、商工会議所含む）との協働により、中心市街地で行われる各種イベントと効果的なコーディネートが行われ、相乗効果が発揮された。特にかけがわ桜まつりとのタイアップ企画は大きな話題を呼び、観光客が増加した。</p>

<p>今後の展開  (短期・中期のビジョン、  「協働」を見据えた観点か  ら記載)</p>	<p>(1) 短期的なビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 姉妹都市情報発信基地として確立。</li> <li>② レシピ公開による地域ブランド化やフードツーリズムへの発展。</li> <li>③ レシピコンテストやペーザロ料理写真コンテストなど市民参加型の事業展開。</li> </ul> <p>(2) 中期的なビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民主体の姉妹都市交流の活性化。</li> <li>② 掛川茶など本市の特産品の輸出戦略拡大への波及。</li> <li>③ イタリアはスローライフ発祥地でもあるので、例えばスローサイクリング観光などスローライフの実践や音楽を中心とした芸術文化の振興。</li> </ul>
--	---

様式第15号

## 収 支 決 算 書

団体名: 掛川市観光物産センターこだわりっば 受任者 西東石油株式会社
--

(収入)

区分	予算額(円)	説明
市補助金	500,000	市民活動推進事業補助金
自己財源	416,060	自社出資
合計	916,060	

(支出)

区分	予算額(円)	説明
報償費	290,000	輸入経路開拓分 ・輸出入商社・現地ワイナリー等調整、渡航費費用弁償
旅費	57,020	輸入経路開拓分 ・輸出入商社・かけがわ応援大使打合せ 東京旅費等
食糧費	153,529	創作メニュー開発用食材
印刷製本費	407,311	イベント広報チラシ印刷費
通信運搬費	8,200	郵便料
合計	916,060	
(うち対象外経費)		

中 村 城 山 砦 保 全 会



掛 川 市 観 光 物 産 セ ン タ ー こ だ わ り っ ぱ 受 任 者 西 東 石 油 ( 株 )

**こだわりっぱ NEW 2F**  
掛川市姉妹都市イタリア・ペーザロ市のワインや  
互恵互済をテーマとしたイタリア料理

**OPEN!**  
JAPAN 掛川 × PESARO ITALY

掛川市とイタリア・ペーザロ市の食材や特産品をコラボレーション、  
モダンなデザインを建築の中で  
シェフが生み出す独特のイタリア料理をご堪能ください。

イタリア海に築いた  
マヨが特徴の音楽と美食の街  
イタリア PESARO  
JAPAN KAKEGAWA  
掛川市とイタリア・ペーザロ市の2016年7月20日姉妹都市提携を記念して、互恵互済の特産物や  
特産品(イタリア産)や経済、文化、観光、スポーツを中心に、深く交流を促進しています。

**Chef Takayoshi Yamazaki**

掛川市姉妹都市イタリアン「ペーザロ」  
営業時間 LUNCH 11:30-14:00  
DINNER 17:00-22:00 (LO 21:00)  
掛川市城下6-12 こだわりっぱ2F  
TEL 0537-25-7782

日本では希少な、  
マルケ州で栽培される  
グリンパルマが持つ掛川市  
ペーザロ産のオリーブを  
使って、  
様々なオイルを  
輸入し取り扱っています。

**GOURMET & SHOPPING**

1F

こだわりっぱでは、地元掛川産の緑茶や、遠州の乳産・特産品を取り揃えて  
います。また、1階には姉妹都市イタリア・ペーザロ市のワインやオリーブ  
オイルなどの特産品販売コーナーもオープンいたしました。

人気の抹茶ソフトクリームやたい焼きでひと休み!

**掛川 こだわりっぱ**

営業時間 9:30~17:30  
定休日 不定休  
TEL (0537) 24-8700  
FAX 掛川市城下6-12

2F

掛川市姉妹都市イタリアン  
ペーザロ  
PESARO

掛川市姉妹都市イタリアン「ペーザロ」  
イタリアのマルケ州ペーザロ市との提携を  
きっかけにオープンした本格イタリアン  
レストラン。ペーザロ産のオリーブオイルや  
ワインと、掛川の食材でシェフが  
生み出す独特のイタリア料理  
をご堪能ください。

**BUONO!**



「茶のみやきんじろう」

©掛川市

この補助金に関するお問い合わせ、申し込み先は

〒436 - 8650

掛川市長谷一丁目1番地の1

掛川市役所市民協働部 生涯学習協働推進課 協働推進室 協働推進係

TEL : 0537 - 21 - 1129

FAX : 0537 - 21 - 1165

E-mail : kyodo@city.kakegawa.shizuoka.jp



掛川市まちづくり協働センター

検索

まちづくり情報を発信中!

市 HP

